

令和3年産 もっと安心農産物 春夏にんじん栽培暦

東庄そ菜園芸組合露地部会 もっと安心春夏にんじん生産グループ

1. 土づくり

完熟堆肥又は緑肥の施用

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守

	肥料名	成分	施肥量
基肥	①かとりにんじん配合928	9-12-8 (有機態窒素 1.5%)	130 kg/10a 以下
	②スーパーにんじんブリケット	6-8-8 (有機態窒素 3.6%)	240 kg/10a 以下
	③有機化成NN121号	10-12-10 (有機態窒素 1.5%)	110 kg/10a 以下
	④根菜専用026	10-12-6 (有機態窒素 1.1%)	110 kg/10a 以下
	⑤レオユーキF	9-12-9 (有機態窒素 1%)	100kg/10a 以下
	苦土重焼燐	0-35-0 (苦土 4.5%)	40 kg/10a
	苦土石灰 (粒)	苦土 10% アルカリ 55%	100 kg/10a

※基肥に①かとりにんじん配合928、②スーパーにんじんブリケット、③有機化成NN121号、

④根菜専用026、⑤レオユーキFのいずれかを施用する。

3. 防除 **化学合成農薬使用総成分回数は6回以内**

(但し、ポリオキシシ AL 水和剤、Zボルドー、ゼンターリ顆粒水和剤はカウントしない。)

月	管理作業	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)				
11月下旬	播種	②フォース粒剤(播種時) ダイアジノン粒剤5(播種前) ユニフォーム粒剤(播種前)	12kg/10a 6 kg/10a 9~18 kg/10a	ネキリムシ類 しみ腐病	発芽を良好にする為、土壤水分を十分に確保してから播種作業を行なう。				
12月上旬		③ゴーゴーサン細粒剤F、 ゴーゴーサン乳剤、 トレファノサイド粒剤2.5 トレファノサイド乳剤 クレマートU粒剤 クレマート乳剤 (播種直後) いずれか1剤	5kg/10a 400ml/10a 6 kg/10a 300ml/10a 6kg/10a 400ml/10a	畑地一年生雑草	播種期間は、12月上旬から2月下旬までに行なう。				
中旬					早めに換気作業を行ない病害の発生を防ぐ。				
下旬	降雨が多い場合は、病害防除の為ポリオキシシAL水和剤 500倍 (収穫7日前迄)を散布する。								
1月上旬	換気初め	①センチウ類対策として、							
中旬						・ネマトリンエース粒剤 (20kg/10a 播種前)			
下旬									
2月上旬	間引き			黒葉枯病対策として、アミスターオブティフロアブル 1000倍 を多めに散布する。(収穫前21日まで)					
中旬								ヨトウムシ防除には⑤ランネット45DF 1000倍 (収穫前日まで)を発生初期に散布する。 又はアブラムシ防除アドマイヤー顆粒水和剤 10,000倍 (収穫3日前まで)	
下旬									トンネル除去
3月上旬				しみ腐病予防と良品生産の為、適期に収穫する。					
中旬									
下旬									
4月上旬	収穫								
中旬									
下旬									
5月									
6月									
7月									

☆みんなで守ろう生産基準